

VII 学習環境整備事業の概要

市民の学習活動の拠点となる市民館等の基盤整備を行なった。

1 川崎市社会教育委員会議 教育文化会館・市民館専門部会

1987（昭和 62）年度まで教育文化会館・市民館運営審議会ですべての視点による諮問事項について審議してきたが、1988（昭和63）年度から各館別に7審議会（1館 10名以内の委員を委嘱）が発足し、それぞれの審議会が地域の諸問題にふれ、住民の学習要求に即応した活動及び運営がさらに豊かになることをねらいに開催した。

なお、2016（平成28）年度から運営審議会にかわり、川崎市社会教育委員会議専門部会として会議を開催することとなった。



2 刊行・広報活動

市民館等の事業を市民に広報することは、単に参加者の募集のためだけでなく、市民館活動への理解を深め、生涯学習・社会教育に対する認知を広げる意味も大きい。教文だより、市民館だより等、ホームページ、ポスターやチラシ、事業ごとの文集など、さまざまな媒体を活用している。

3 職員研修

市民の学習と活動を支援する職員の力量を形成し、施設としての機能と専門性を高めるため、教育委員会人材育成計画に基づき、職員研修を実施している。地域・市民のニーズを把握し、事業を企画・立案・実践する力、学びの機会や課題解決をさぐる方法を市民とともに考える力など、社会教育施設の職員として必要な能力をつけるとともに、新たな課題への対応を図るため、2016（平成28）年度も10コースの研修を実施した。

4 視聴覚ライブラリー事業

市民館等で視聴覚ライブラリー機材・教材の貸出し事業を行った。

5 16ミリ映写機操作技術講習会

2016（平成28）年度は麻生市民館で実施した。

Ⅶ 1 川崎市社会教育委員会議 教育文化会館・市民館専門部会

(◎は会長、○は副会長)

館名	氏名	所属	区分	諮問・研究課題	開催月日	
教育文化会館	◎	山澤和子	日本女子大学 客員准教授	4	教文事業と寺子屋事業の連携及び支援について	6・17
	○	山村社一夫	教文サークル連絡会 会長	2		9・28
		青木恵美子	川崎市地域女性連絡協議会 会長	2		12・15
		櫻井恵子	渡田中学校 校長	1		2・25
		岡田榮子	川崎区文化協会 副会長	2		
		嶋麻紀	川崎区PTA協議会 副会長	2		
	中嶋由利子	川崎区地域教育会議 副議長	2			
	荒井志津子	公募委員	3			
幸市民館	◎	金井岳	小鳩幼稚園 園長	5	地域につながる市民館・分館のあり方について	6・8
	○	大塚謙一郎	幸区地域教育会議 議長	2		9・8
		青木由秋	南河原小学校 校長	1		12・1
		北村知美	幸区PTA協議会 会計監査	2		2・11
		酒井清子	幸区文化協会 理事	2		
		矢木秀子	幸サークル連絡会 会長	2		
	中島由貴	公募委員	3			
	片岡了	明治大学 兼任講師	4			
中原市民館	◎	為我井 顕裕	中原区PTA協議会 会長	2	シニアの社会参加事業等について	6・15
	○	吉川 真一	中原区文化協会 副会長	2		9・9
		滝澤 順子	玉川小学校 校長	1		12・14
		山本 陽子	中原市民館サークル連絡会 庶務担当	2		2・25
		大原 薫子	元八幡町町内会 女性部長	2		
		岡野 薫子	中原区社会福祉協議会 理事	2		
	滝川 甲子男	中原区子ども会連合会 副会長	2			
	眞喜子	公募委員	3			
高津市民館	◎	金山 俊一郎	高津区地域教育会議 議長	2	人と人がゆるかやにつながる～学びや遊びでより身近な市民館にしよう～	7・5
	○	山中多央子	東高津中学校 前副会長	5		9・9
		中村信一	末長小学校 校長	1		12・9
		遠藤昌宏	高津区PTA協議会 副会長	2		2・25
		田村富彦	高津区文化協会 理事・事務局長	2		
		松崎キヨエ	高津区全町内会連合会 理事	2		
	笹子まさえ	特定非営利活動法人アクト川崎 事務局長	2			
	迎スミ子	川崎市男女共同参画センター 前館長	4			
	仙北谷力	公募委員	3			
宮前市民館	◎	川西和子	調査モデレーター・分析・各種司会	4	地域人材の創出について	6・29
	○	藤生林芳子	川崎市立野川小学校 校長	1		9・7
		小与田好子	宮前区文化協会芸能部会 副部会長	2		11・1
		小川清子	宮前第6地区民生委員児童委員協議会 会長	2		2・25
		大津三郎	菅生分館利用者懇談会 前代表	2		
		大西由紀野	宮前区全町内・自治会連合会 理事	2		
	大竹正晃	公募委員	3			
		宮前区PTA協議会 前会長	5			
多摩市民館	◎	米田信一	多摩区地域教育会議	1	地域力を高めるための多摩市民館事業のあり方	6・14
	○	小澤章子	たま学習サークル連絡会	2		9・7
		栗林昌人	登戸小学校 校長	2		12・9
		吉田優子	多摩区PTA協議会	5		2・25
		古谷欣治	多摩区町会連合会	2		
		吉田紀代子	多摩区社会福祉協議会	2		
	小林立裕子	公募委員	3			
	大下勝巳	NPO法人かわさき創造プロジェクト代表理事	4			
麻生市民館	◎	井上俊夫	公募委員	3	地域コミュニティの再生支援について	6・22
	○	橋本明彦	麻生区文化協会	2		9・6
		尾立慶子	白鳥中学校 校長	1		12・13
		高橋慶子	麻生区町会連合会 副会長	2		2・18
		本玉秀夫	麻生市民館サークル連絡会 会長	2		
		鈴木浩子	麻生区地域教育会議	2		
	岩本陽児	和光大学 教授	4			
	西田展子	麻生区PTA協議会	5			

※区分 1：区内に設置された学校の長 2：区内の社会教育団体から推薦された者 3：区内在住の社会教育に関する経験を有する市民
4：学識経験者（川崎市市民館条例 第21条第4項、川崎市教育文化会館条例第21条第4項による）
5：区内の家庭教育の向上に資する活動を行う者

Ⅶ 2 刊行・広報活動

教育文化会館だより・市民館だよりの発行一覧

教文	教育文化会館だより	年7回	各回	9,500部
大師	プラザ大師インフォメーション	年7回	各回	9,500部（教文だよりに併載）
田島	プラザ田島だより	年7回	各回	9,500部（教文だよりに併載）
幸	幸市民館だより	年6回	各回	7,300部
日吉	日吉分館だより	年6回	各回	7,300部（幸市民館だよりに併載）
中原	中原市民館だより	年6回	各回	10,000部
高津	高津市民館だより	年6回	各回	9,000部（特別号 6,000部）
橘	プラザ橘だより	年6回	各回	4,000部
宮前	宮前市民館だより	年7回	各回	8,500部
菅生	菅生分館だより	年8回	各回	2,900部
多摩	多摩市民館だより	年6回	各回	7,200部（うち1回はたまたま子育てまつり特集号）
麻生	麻生市民館だより	年6回	各回	8,000部
岡上	岡上分館だより	年6回	各回	8,000部（麻生市民館だよりに併載）

Ⅶ 3 職員研修

研修名	対 象	回数	趣 旨	
社会教育 初任者研修	社会教育・行政職員（新任・未経験）	6	社会教育初任者として必要な基礎的知識や実践能力を養う	
	内 容		延べ人数	135人
	①社会教育・生涯学習とは ②川崎の生涯学習・社会教育の目指すもの ③人に好かれる聴き方・話し方とは？～窓口・電話などでのクレーム対応～ ④社会教育施設の課題と取り組み先輩から学ぶ社会教育施設職員の役割 ⑤社会教育施設の課題と取り組み～市民館・図書館・国際交流センターの実像に迫る ⑥社会教育施設における障害者差別解消法＜生涯学習研修と合同＞			
研修名	対 象	回数	趣 旨	
指導・経営研修	社会教育・行政職員（主任～課長・施設長）	1	職場集団をまとめ、指導、補佐する職員や施設を経営する職員として必要な能力を養う	
	内 容		延べ人数	16人
	「H26.27 社会教育委員会議報告書～地域をつなぐ拠点としての社会教育施設を求めて～」の報告とそれを受けての話し合い			
研修名	対 象	回数	趣 旨	
生涯学習研修	社会教育・行政職員、学校教職員、市民	3	社会教育施設職員として必要な生涯学習・学社融合に関する基本的な知識や実践的な能力を養う	
	内 容		延べ人数	56人
	①地域の寺子屋事業について ②社会教育施設における障害者差別解消法（対応と課題解決方法） ③特別講話「私にとっての社会教育とは」			
研修名	対 象	回数	趣 旨	
人権尊重研修	社会教育・行政職員、学校教職員、市民	1	教育職員として不可欠な人権に関する知識や感性を獲得し、基本的・実践的能力を養う	
	内 容		延べ人数	20人
	川崎市の外国人施策を学ぶ＜初任者研修と合同開催＞			
研修名	対 象	回数	趣 旨	
課題研修	社会教育・行政職員、学校教職員	3	社会教育における様々な課題についての問題意識・専門性を高めることを目的とする	
	内 容		延べ人数	55人
	①障がい者差別解消法を理解し、今後のボランティア活動に生かす＜障がい者ボランティア研修と合同＞ ②他都市の公民館事業から川崎市の社会教育事業を考える ③変容する地域社会の課題に対応する生涯学習推進のあり方			
研修名	対 象	回数	趣 旨	
自主グループ 研修	社会教育（全施設）・行政職員	20	社会教育職員が、その専門的能力の向上を図るために、自ら研修を行うことを支援する	
	内 容		延べ人数	248人
	Aグループ：「図書館と広告事業」全11回 Bグループ：「社会：教育事業における企業などとの連携」全11回 Cグループ：「事業評価を見据えた学級の運営について」全11回			
研修名	対 象	回数	趣 旨	
市民館基礎Ⅰ研修	市民館職員（新任・未経験）	6	市民館の役割や課題を理解し、基本的な業務に必要な実践的能力を養う	
	内 容		延べ人数	59人
	①オリエンテーション コミュニケーション力をつけよう ②事業要綱について 市民の話を聞こう 先輩職員の経験を聞こう ③広報・ホームページについて 学級の進め方・学習プログラム作成実習 ④市民自主要綱について・市民との協働・市民自主の進め方・学習プログラム作成実習 ⑤学習プログラム発表準備 ⑥1年間を振り返る～学級の最終回の持ち方			

研修名	対 象	回数	趣 旨	
市民館基礎Ⅱ研修	市民館職員（2年目）	6	学級運営の能力を養うとともに、地域課題を的確に捉え、市民と協働して市民館事業を進める力を培う	
	内 容		延べ人数	57人
	①オリエンテーション 1年目の担当した事業をふりかえる ②他都市の公民館事業を学ぶについて先輩職員に学ぶ ③先輩職員に学ぶ（1）～学級・講座の運営について～事業の広報／多くの市民に知ってもらうための工夫 ④先輩職員に学ぶ（2）～学級・講座の運営と終了後の学習グループへの立ち上げについて ⑤先輩職員に学ぶ（3）～学級・講座の見学・実習 ⑥先輩職員に学ぶ（4）～実習報告とまとめ			
研修名	対 象	回数	趣 旨	
図書館職員研修	図書館職員・行政職員・学校図書館関係職員	5	図書館の基本的業務に必要な実践的能力を養う	
	内 容		延べ人数	54人
	①図書館初任者端末研修 ②図書館経理事務研修 ③図書館初任者レファレンス研修 ④図書館データベース研修 ⑤図書館職員全体研修 「ストレスコントロール～ストレス回避と解消法のヒント」			
研修名	対 象	回数	趣 旨	
博物館職員研修	博物館職員・行政職員・学校教職員	1	博物館の役割や今日的課題を学び、業務に必要な実践的能力を養う	
	内 容		延べ人数	20人
	博物館評価を通じた利用者との相互交流			

Ⅶ 4 視聴覚ライブラリー事業

視聴覚ライブラリー機材・教材貸出事業

○機材一覧

	暗 幕	16 ミ リ 映 写 機	ス ラ イ ド 映 写 機	○ H P	○ H C	ビ デ オ ・ モ ニ タ ー	ス ク リ ー ン	液 晶 ビ デ オ 映 写 機※	ビ デ オ 編 集 機	ア ン プ
教育文化会館	8	3	0	1	1	1	3	2(1)	0	1
幸 市 民 館	20	2	1	1	1	1	3	2(2)	0	2
中 原 市 民 館	20	6	5	3	1	1	1	1(1)	1	0
高 津 市 民 館	20	2	2	2	0	1	0	2(1)	1	1
宮 前 市 民 館	28	2	0	0	0	1	2	2(2)	0	1
多 摩 市 民 館	7	1	0	1	1	1	1	1(1)	0	0
麻 生 市 民 館	15	5	2	2	1	1	2	1(1)	1	2
総合教育センター	90	7	5	2	2	1	2	3(3)	0	1

() はパソコン対応

(視聴覚教材利用状況)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
教育文化会館	貸出本数	0	0	1	6	0	0	4	0	0	0	11	0	22
	利用人数	0	0	0	1,758	0	0	560	0	0	0	1,656	0	3,974
幸市民館	貸出本数	6	7	3	19	5	4	4	4	5	5	4	6	72
	利用人数	56	538	44	6,397	116	22	73	45	500	230	86	336	8,443
中原市民館	貸出本数	0	5	6	0	5	1	0	1	0	0	0	4	22
	利用人数	0	0	48	0	220	0	0	0	0	0	0	200	468
高津市民館	貸出本数	2	3	10	12	9	3	9	4	4	3	1	3	63
	利用人数	180	65	354	3,120	104	429	18,000	176	130	50	39	700	23,347
宮前市民館	貸出本数	2	2	0	16	3	0	0	3	0	10	1	0	37
	利用人数	1,200	204	0	1,600	100	0	0	90	0	52	25	0	3,271
多摩市民館	貸出本数	5	0	1	5	0	0	0	2	7	1	1	1	23
	利用人数	415	0	365	11,930	0	0	0	390	310	200	370	35	14,015
麻生市民館	貸出本数	1	0	2	1	7	4	1	5	4	0	3	3	31
	利用人数	0	0	16	30	269	400	15	25	184	0	90	130	1,159
総合教育センター	貸出本数	1	1	0	2	2	8	0	3	0	0	0	1	18
	利用人数	0	30	0	40	20	210	0	140	0	0	0	40	480
合 計	貸出本数	17	18	23	61	31	20	18	22	20	19	21	18	288
	利用人数	1,851	837	827	24,875	829	1,061	18,648	866	1,124	532	2,266	1,441	55,157

○団体別利用状況（2016（平成28）年4月～2017（平成29）年3月）

団体 教材	官公庁 市役所						企業 工場等						学校関係 市教委						社会教育関係団体									
	教文	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生	教文	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生	教文	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生	教文	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生
暗幕	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	
16ミリ 映写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	
スライド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
OHP/OHC	0	3	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	31	0	0	0	0	0	11
ビデオ・ モニター	3	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	7	0	0	0	1	0	2	1
プロジェクター	0	26	6	7	23	1	9	47	0	39	20	4	23	4	25	2	6	1	0	25	70	7	5	22	12	2	5	20
スクリーン	9	12	6	5	19	1	9	106	0	28	8	4	1	10	64	1	4	0	0	13	69	7	5	19	2	2	0	44
その他	3	53	0	0	7	1	2	4	0	0	0	2	24	8	9	2	0	0	0	20	39	1	33	0	2	1	1	38

団体 教材	団体 サークル						町内会 自治会						その他						合計						総 計				
	教文	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生	教文	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生	教文	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生	教文	幸	中原		高津	宮前	多摩	麻生
暗幕	0	1	0	1	4	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	8	0	5	17
16ミリ 映写機	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	5	0	1	2	10
スライド	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	8
OHP/OHC	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	5	0	0	0	0	43	51
ビデオ・ モニター	0	0	24	16	38	7	13	0	0	0	0	0	0	0	22	0	0	0	0	0	0	27	0	29	17	38	9	21	141
プロジェクター	0	2	89	45	49	114	42	0	1	0	0	6	0	2	96	17	1	1	0	0	0	175	53	163	86	84	168	147	876
スクリーン	2	5	54	9	60	6	49	0	0	0	0	3	1	1	185	7	1	0	0	0	0	373	30	112	24	88	22	182	831
その他	0	60	6	1	3	61	33	0	1	0	0	1	0	0	15	42	0	0	0	1	0	32	191	6	3	14	108	120	474

Ⅶ 5 16ミリ映写機操作技術講習会

会場	開催日	参加者	内容
麻生市民館	9月25日（日）	11人	<ul style="list-style-type: none"> ・映写機の原理と構造及び利用方法 ・映写機の操作実習 ・映画フィルムの取扱い方法 ・視聴覚ライブラリーの利用方法